みどり市立大間々東中学校
学　校　通　信
令和３年７月９日　第７号

東　輝

変革期としての取組

あとわずかで１学期が終わりますが、今年度もコロナの影響を受け、部活動を含め、様々な活動について中止・縮小・延期といった措置を取らざるを得ない状況が続きました。生徒はもちろんのこと、保護者の皆様にも各種対応について多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

このような状況の中、今年度は新教育課程が全面実施となった年であり、一人１台のタブレットも本格的に活用が始まった年でもあり、大きな変革の時期でもあります。コロナ禍という状況下における変革ということもあり、学校としても試行錯誤を繰り返している側面もありますが、生徒と向き合う時間の確保に向け、学校における様々な教育活動を「効率的」「効果的」「実効性高く」実施できるよう「スクラップ＆ビルド」していかなければならないと考えております。また、この状況が好機であるとも捉えております。

「持続可能」という言葉も、近年、巷間を賑わす言葉となっていますが、家庭・地域の皆様におかれましては、今後とも子どもたちの成長に向け、お力添えをいただきたくお願いいたします。

素晴らしい主張でした！

校内弁論大会で学校代表に選ばれた二人が、７月３日に行われた**少年の主張みどり市大会**に参加しました。市内から９名の生徒が参加しましたが、どの生徒も、中学生らしい視点で堂々と発表することができ、社会の一員としての自覚を感じました。

本校の代表生徒と大会の結果は以下のとおりです。

◇新井　さくら（３年）　最優秀賞
題名「自分が自分として生きる」
◇小竹　藍紗（３年）　優秀賞
題名「目を背けずに」

なお、最優秀賞の新井さんについては、８月２１日に開催される**東毛地区大会に出場**します。また、６月４日に行われた校内弁論大会も各学年の代表者がとても素晴らしい内容の主張をすることができました。以下４名が各学年の代表として発表をしてくれた生徒です。

◇星野　結衣（１年）　題名「高齢化社会の今」
◇新井　舞桜（１年）　題名「言葉の重さ」
◇齊藤　絵心（２年）　題名「点と点がつながることを信じて」
◇吉澤　　望（２年）　題名「僕達に今できること」

～　～　～　～　～　～　～　～　～　～　～　～　～　～

■タブレットの持ち帰り■

７月１６日（金）に全校生徒が一斉にタブレットを持ち帰ります。夏季休業明けに学校へ持ってくることになりますが、活用方法等の詳細は、今後、追ってお知らせいたします。

■トイレ改修工事■

今年度、本校のトイレ改修工事が行われます。和式が洋式に改修され、一部、車椅子対応トイレも設置されます。**工期は６月８日から９月３０日まで**ですが、校舎内の本格的な工事は終業式の午後から始まります。９月末までは仮設トイレが設置されるなどの対応が取られますが、来校した際など、ご不便をおかけする場合もあるかと思いますので、よろしくお願いいたします。

※主な工事内容：南校舎１～４階男女トイレ４カ所、体育館男女トイレ２カ所